

# 大学が野に出るとはということかー フィールドから生まれる共創知



2019年

7月19日(金)

大阪大学人間科学研究科  
ラーニングcommons  
(北館2F)

16:30~18:00

## 第一回 共創知研究会

大学が野に出て地域と交わることによって何が創発されるのか。

調査としてのフィールドワークを逸脱し、教育としてのスキルも逸脱し、アートとしての創造へ向かうプロセスについて語る。

### 講師 竹川大介

北九州市立大学文学部  
人間関係学科 教授  
人類学者・理学博士

ライフワークは「わかるとはなにか」。  
九州・沖縄・メラネシア島嶼域をフィールドに、人類学の研究をおこなっている。

#### ■近年の研究テーマ

他者認知の進化に基づく贈与交換論  
資源利用と在来知に関する生態人類学研究  
ヒトの自己覚知能力による自然の擬人化:新しいアニミズム論  
人類の普遍的な道徳基盤研究:共感性と互酬性による紛争解決  
都市部の環境指標生物としてのニホンミツバチ



#### ■おもな社会活動

愛知万博市民プロジェクト「宇宙船地球号」(プロジェクトリーダー)  
テント芝居・水族館劇場北九州公演(制作団長)  
JICA 草の根技術協力事業「フツナ島村落経済開発」(プロジェクトリーダー)  
環境省「石西礁湖自然再生事業支援専門委員会」(専門委員)  
ダンス白州 2008「縄文という生命(いのち)」ソロダンス 後山阿南:  
パートナー 竹川大介(美術・インスピレーション)  
国営沖縄記念公園海洋文化館(海洋文化館展示アドバイザー)  
北九州演劇フェスティバル 2010 語る演劇「地域を耕す」竹川大介・長谷川孝治・  
永山智行(講演者)  
アートイベント「野良」(招待作家)、奥能登国際芸術祭 2017 (招待作家)

未来共創センターは今年度より共創知研究会を立ち上げました。人々の共生・協働の現場から生まれる「知」について語り合い、共創とは何か、共創知とは何かを探求していきます。皆様のご参加をお待ちしています。

#### ■おもな共著書

『イルカとナマコと海人たちー熱帯の漁撈文化誌』NHK ブックス  
『ソロモン諸島の生活史ー文化・歴史・社会』明石書店  
『民俗の技術』朝倉書店  
『核としての周辺』京都大学学術出版会  
『貨幣と資源』弘文堂  
『海洋資源の流通と管理の人類学』明石書店  
『紫川大図鑑』九州高等学校魚部・企画編集  
『野研! 大学が野に出た』九州大学出版会